

自動車部品の製造販売を展開するオーハシテクニカグループ（本社：東京都港区）は、米国オハイオ州の製造拠点 Ohashi Technica USA Manufacturing, Inc. において、2024年12月より進めたい工場拡張工事が完了し、新CNC切削工場の稼働を開始したことを発表した。

今回の拡張は、北米市場における自動車用サスペンション部品の需要拡大に対応するもの。新工場の稼働により、同拠点内の冷間圧造工場で成形された素形材に対し、CNC切削による二次加工を一気通貫で行う部品製造体制を強化。これにより、更なる高付加価値部品の安定供給を実現している。

オーハシテクニカ

更に9台を追加し、計26台の切削ラインを2028年末までにフル生産させていく予定だ。

これにより、同拠点の生産能力は現在の月産2.5億円規模から、2028年には3.5億円規模（約40%増）への拡大を見込んでいる。

今回の対象拠点である Ohashi Technica USA Manufacturing, Inc. はオハイオ州サンバリー市に、1987年の販売



拡張工事が完了した米国拠点



拡張した切削工事（左上白い建物部分）

米国オハイオ工場を拡張 サスペンション部品の増産体制を構築

会社 Ohashi Technica USA, Inc. の設立に続き、1994年に同グループ初の自社製造拠点として設立した。現在は日本・米国・中国・タイのグローバル4極か

ら成る製造体制の中心的拠点として機能し、Ohashi Technica USA, Inc. の営業、調達、品質保証、物流部門と合わせ、約110名が従事する。

オーハシテクニカグループは、これら4極に設置した「製造機能」と、7カ国に展開する販売・調達機能を相互に連携・融合させた「グローバル機能」を一層強化し、日系自動車メーカーを中心とする得意先自動車メーカーの「より良いクルマづくり」に貢献することで、グループ全体の事業拡大と各地域社会への更なる貢献を目指すとしている。

営業企画

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2026年6月11日 日刊自動車新聞 4面 ©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。